

はじめに

東日本大震災から13年が経過し、復興需要が収束しつつある中、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、平時の社会経済活動に戻り、企業における賃上げや高い投資意欲など、前向きな動きがみられています。一方で、為替変動や原材料不足、エネルギーや資材価格の高騰など、地域経済を取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。

東北では現在、鉱工業生産においては、電子部品・デバイス・電子回路製造業や輸送用機械器具製造業などをはじめ、全体的に持ち直しの動きが続いており、個人消費も緩やかに改善してきております。一方で、全国に先駆けて人口減少、少子高齢化が進んでいることに加え、所得水準や付加価値生産性が全国に比して低いなど、構造的な課題を抱えており、今後ますます地域経済に影響を及ぼすことが懸念されています。

東北経済産業局では、このような東北地域の経済動向や産業構造などを概観いただけるよう、最新の各種データについて見やすくコンパクトにまとめた『東北経済のポイント』を、昭和63年以来、毎年発行しております。本書が、東北地域の現状や課題の理解を深める一助となり、経営戦略策定や施策立案、学術研究などの参考となれば幸いです。

また、経済産業省と内閣官房では、本書にも引用している統計データや様々な民間データを検索できるシステム「地域経済分析システム（RESAS：リーサス）」や、各種データを分析し、考察することをサポートするツール「RAIDA：レイダ」を、インターネット上で公開しております。本書においてもRESASを活用して作成したデータの一例を紹介しておりますので、併せて御覧ください。

当局は組織理念として、『「共感」・「協奏」・「変革」ともにつくる東北。』を掲げています。不確実性の高い時代において、東北を将来にわたって持続可能な地域とするため、企業や関係機関の皆様との出会い・繋がりを大切にしながら、職員一同取り組んでまいります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本書発行にあたり資料提供などに御協力をいただきました関係者の皆様方に、心より御礼申し上げます。

2024年11月

東北経済産業局

総務企画部企画調査課一同